

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>○指名停止状況</p> <p>Q 1 今回指名停止をした業者の指名停止期間が、香川県広域水道企業団建設工事指名停止等措置要領の別表に定められた期間より短いのはなぜか。</p> <p>○随意契約</p> <p>Q 1 香川県広域水道企業団建設工事執行規程第 5 条第 1 項第 1 号の規定に基づく金額以上の工事でも随意契約することが可能なのか。</p> <p>1 肥土山浄水場更新工事</p> <p>Q 1 基準評価値はどのように設定するのか。</p> <p>Q 2 応札者が 1 者であると、評価が低い業者と契約になるのでは。</p> <p>Q 3 大手ゼネコンが応札をしなかったことについてヒアリングはしたのか。</p> <p>Q 4 物価高騰に対する対応策はあるのか。</p> <p>Q 5 技術提案項目の得点が低いですが施工は大丈夫なのか。</p> <p>2 新岡本線（第 4 工区－1）新志度本線（第 1 工区－1）送水管外新設工事</p> <p>Q 1 入札参加資格の施工実績要件である口径と施工延長はどのように決めるのか。</p> <p>3 まんのう町野口浄水場設備更新工事</p> <p>質問・意見なし</p> <p>4 小豆島町池田地区配水管更新工事（第 1 工区）</p> <p>Q 1 小豆ブロック統括センター内では、1 者応札に対応する術はないのか。</p> <p>5 管路更新に伴う掘削修繕工事（東部浄水系志度本線（第 3 工区－1 3））</p> <p>質問・意見なし</p>	<p>A 1 同者が課徴金減免制度の適用事業者となっていることから、同要領第 3 条第 2 項の規定を適用し、期間が 2 分の 1 に短縮されたものである。</p> <p>A 1 他の工事を施工中に水道管が支障となった場合等において、緊急性、安全性、円滑な施工等を勘案した結果、当該工事の施工業者に、水道施設工事でも施工させた方が、妥当だと判断される場合は、随意契約をしている。</p> <p>A 1 標準点（100 点）を税抜き予定価格（千万単位）で除して求めている。</p> <p>A 2 基準評価値を超えているので、問題ないとする。</p> <p>A 3 企業団としてヒアリングはしていない。</p> <p>A 4 工期内に日本国内において急激なインフレが生じた場合は、香川県広域水道企業団工事請負契約約款第 25 条第 6 項の規定に基づき対応することになる。</p> <p>A 5 総合評価における技術提案項目の点数は、入札公告の入札参加資格を満たした上での加算点であり、この点数が低いことで施工が危ぶまれるものではない。</p> <p>A 1 発注工事規模、難易度等により適正に設定している。</p> <p>A 1 業者は、企業団のみならず、県や町の発注見通しに基づき、受注計画を立てるが、当センター管内の業者は中小零細な者が多く、複数の工事を同時に受注できないことから、1 者応札が発生していると考ええる。</p>